

「赤い羽根3・11いわて沿岸地域応援募金」にご協力をお願いします ドネーション(寄付)パーティーのご案内

ドネーションとは寄付を意味し、ドネーションパーティーとは市民活動団体やNPO法人が団体活動の解説を行い、それを聴いた人々が共感した団体(活動)に寄付をするイベントのことです。

社会福祉法人岩手県共同募金会では「赤い羽根3・11いわて沿岸地域応援募金」運動を1月から展開中で、本会初となるドネーション

パーティーを開催します。

このドネーションパーティーに参加すると、自分たちの地域を良くしようとしている団体と活動を知ることができます。

また、ドネーション、すなわち寄付することで「じぶんの町を良くするしくみ」に企業として社会貢献が無理なくでき、そこに参加する方々と異業種間の交流ができます。

4月からオリジナルボールペンを販売予定 県共募の寄付つき商品第一号



岩手県立大学の学生企画により、沿岸地域の被災地支援活動募金を応援するために岩手県共同募金会の寄付つき商品第一号としてオリジナルボールペンを制作。「ビッグデータ」がデザインし、ボールペン作成については、企業の社会貢献の一環としてゼブラ株式会社、株式会社

平金商店にご協力をいただきました。

このボールペンを購入することで、被災地活動支援ができます。寄付金つきのボールペン購入することで、手軽に被災地に思いを寄せ支援を行うことができ、被災地域を元気にすることにつながります。ボールペンは岩手県立大学の売店などで4月からの販売を予定しています。

購入価格や販売店等が決まり次第、本会のホームページで紹介する予定です。

ドネーションパーティー開催案内

- 日 時 平成26年3月11日(火) 18時30分～20時30分
- 会 場 ホテルメトロポリタン盛岡・本館4F 姫神盛岡市盛岡駅前通1-44 ☎:019-625-1211
- 会 費 5,000円(このうち1,000円が「赤い羽根3.11いわて沿岸地域応援募金」に寄付されます)
- 参加者 「赤い羽根3.11いわて沿岸地域応援募金」に賛同する企業、市民の皆様。
- 内 容 参加企業のご紹介、被災地の状況についての報告、交流会
- お問い合わせ先 盛岡市共同募金委員会事務局 (盛岡市社会福祉協議会 地域福祉課 担当:泉館) 〒020-0886 盛岡市若園町2-2 ☎:019-651-1000 FAX:019-622-4999 E-mail:izumidate@morioka-shakyo.or.jp

赤い羽根自動販売機の設置協力について

岩手県共同募金会では、飲料の自動販売機を通じて社会貢献を推進しております。協賛企業(飲料メーカー、自動販売機取扱企業)と本会が覚書を交わし、設置主様の協力を得て、飲料の売上げから共同募金会へ募金をしていただくシステムになります。

募金は設置市町村の福祉活動に約7割、岩手県内の被災地支援を含む福祉活動に約3割が使われます。募金は協賛企業と設置主様の設定した割合で決めていただくことができます。

自動販売機を設置、または新規で設置する場合は、是非、赤い羽根自動販売機の設置についてご検討をお願いいたします。

設置について検討していただければ、本会あてご連絡をお願いいたします。

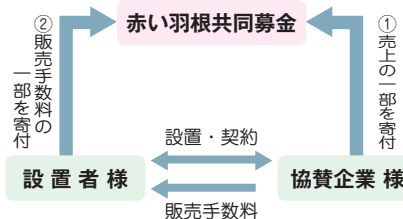
【協力企業】

現在、本会と赤い羽根自動販売機設置に関する覚書を取り交わしている企業は、下記のとおりです。下記以外の企業からも協力の申出がありますので、覚書を締結した企業は随時、本会ホームページでお知らせします。

また、自動販売機取扱企業が本会と覚書を交わしていない場合は、本会から協力を依頼しますので、ご連絡をお願いいたします。

- NPO法人ハートフル福祉募金
- 株式会社伊藤園
- ガイドードリンコ株式会社
- みちのく・コココーラボトリング株式会社
- みちのくキャンティーン株式会社
- ナショナル・ベンディング株式会社
- 三陸自販機
- サントリーピバレッジサービス株式会社
- 株式会社ミチノク

飲料メーカー及び自動販売機メーカーのご協力を頂き「赤い羽根募金自動販売機」設置による募金活動を推進しています



※販売手数料からの募金は、協力会社を通じて赤い羽根共同募金に寄付されます。
※岩手県共同募金会は、寄付金に対する領収書を発行しています。

平成25年度保育士養成学校(保育士人材確保)研修会を開催 保育士を目指す養成学校生103名が参加

岩手県保育士・保育所支援センターは、2月10日に盛岡市のアイーナにて県民情報交流センターで平成25年度保育士養成学校(保育士人材確保)研修会を開催し、保育士養成学校生103名が参加しました。

保育士の仕事について

社会福祉法人あすなる会「かがの保育園」の山本智明主任保育士から講義をいただきました。

まもなくスタートする子ども・子育て支援新制度、保育所保育士の仕事(保育に欠けている子どもを預かり、保護者の代わりに子育てを実践する・年齢や発達にあわせた遊びや活動、生活等の体験を通じた総合的な関わりの中で成長の援助を行う・子どもの様子を保育日誌などの記録にすることや、保護者や他関係機関との連携をとる)をするにあたり、ど

のような心構えでのぞむべきかを全国保育士会倫理綱領を示しながらお話をいただきました。

保育士を目指す人たちへ

社会福祉法人橋会「山王保育園」の高橋美穂子主任保育士から講義をいただきました。さらさら輝く子どもの笑顔を中心とした保育園の様子を写真を見ながら説明いただき、魅力を伝えていただきました。

併せて、盛岡市私立保育所協会主任保育士会にて実施したアンケート結果についても紹介いただきました。「技術やコミュニケーション能力を高めて欲しい」「子どもたちと笑いあったり、ともに喜ぶことができる素晴らしい仕事です」「様々な社会経験が人間として保育士として必要だと思います」などの意見が寄せられました。

保育士との意見交換

■保育士として一番大切なことは何だと思えますか ■保護者との関わりでは、どのようなことに配慮すればいいと思えますか ■学生のうちに身につけておいたほうがよいと思うことは何ですかの3つのテーマについて、グループで検討・発表し、山本智明主任保育士、高橋美穂子主任保育士とも意見交換を行いました。

参加者の声

参加者からは「実際に現場で働く方の話を聴くことができてよかったです」、意見交換では「同じ保育士を目指している他校の方と関わることでできてよかった」などの感想が寄せられました。本研修は岩手県社会福祉協議会に設置した「保育士・保育所支援センター」での事業と保育士の人材確保・育成のための研修(保育士として次世代を担う養成校の生徒に対して、保育士の能力や仕事の内容に関することを啓発)の一環として実施したものです。



参加者全員で「手をたたきましょう」を歌いました



講義の様子



講義の様子



意見交換会の様子



グループで意見交換したことを発表しました

ふれあいランド岩手 文化施設のご案内

ふれあいランド岩手には、スポーツ施設の他に、ふれあいホールや研修室もございます。

大人数の研修会やステージ発表には、「ふれあいホール」を、少人数から80名程度の研修には「研修室」をご利用ください。

ご利用の際には、パソコン、プロジェクターの貸出もございます。ご要望の際は、総合受付までお申し込みください。



ふれあいホール

座席の無い状態から最大200席まで。講演会をはじめ、ピアノ教室の発表会や映画の上映までご利用いただけます。



研修室

最大84名の収容が可能です。パーテーションにより、20人規模からの使用も可能です。



会議室

最大36名の収容が可能です。パーテーションにより、10人規模からの使用も可能です。

